



原城マラソン大会を応援しよう!!



第26回 南島原市 原城マラソン大会

県内外から集う選手のみなさんの応援をお願いします。また、大会当日は交通規制を行いますので、ご理解ご協力をお願いします。

当日会場では、いろいろな催しを開催します。ぜひご来場ください。



マラソン大会のコースに設定されている原城跡は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として、平成30年の世界遺産登録を目指しています。

世界遺産登録への機運を高めるため、同じ構成資産を持つ自治体と県内のゆるキャラを集め、「第2回原城きゃらソン大会」を開催します。

2月26日(日) 午前9時～

イベント・アトラクション

- 8:50～ … 和道・深江太鼓 和太鼓演奏
- 9:52～ … 2kmコース以降順次スタート
- 10:40～ … 第2回 原城きゃらソン大会
- 11:50～ … 加津佐中学校吹奏楽部 演奏
- 豚汁・そうめんの無料配布

「おもてなしクリーン作戦」参加者募集!!

県内外から参加する選手のみなさんを歓迎するため、コースの清掃活動を行います。みなさんの参加をお願いします。

- 日 時… 2月19日(日) 9:00～(雨天中止)
- 場 所… 原城跡
- 準備品… 軍手、タオルなど

歴史と文化のあふれるまちで天正遣欧使節たちの想いを今に伝える…

第16回 南島原市セナリヨ現代版画展



第15回展 第3部門(一般の部)セナリヨ大賞
〈gibier #1〉リトグラフ 松田 修(千葉県船橋市)

展覧会 Seminario Print Exhibition

2月25日(土)～3月5日(日) 午前10時～午後6時
ありえコレジヨホール

● 表彰式… 2月25日(土) 午前10時～

全国より集まった応募作品の中から厳正な審査を経た入賞作品など約850点を展示します。入場は無料です。ぜひご来場ください。

巡回展(選抜展) 3月22日(水)～4月11日(火) 雲仙ビードロ美術館
4月20日(木)～23日(日) 長崎県美術館

● 主催: 南島原市セナリヨ版画祭実行委員会 図生涯学習課内 ☎73-6703



「セベリアの聖母」
(長崎県指定文化財)

その他の農業用廃プラスチックの回収場所を変更します

図 農林課 ☎73-6661

毎年2月に実施している「その他の農業用廃プラスチックの回収」について、平成28年4月に配布した回収日程表に記載している回収場所を変更します。

※一般の農業用廃ビニールなどは回収できませんので、ご注意ください。

- 回収日… 2月15日(水) 午前9時～午後3時
- 場 所
変更後… 北有馬選果場
変更前… 島原南みかん選果場



今度はみんなで遊ぶ メガSUP体験会 参加者募集



日時: 3月11日(土)・12日(日)

- 1部… 10:00～11:30(12日のみ)
- 2部… 13:00～14:30
- 3部… 15:00～16:30

場所: 加津佐前浜海水浴場

※荒天時は中止
(当日の朝6時に態度決定を行い、市ホームページに掲載)

- 申し込み・お問い合わせ… 企画振興課
☎0957(73)6631 FAX0957(82)3086
Eメール: chiikidukuri@city.minamishimabara.lg.jp

メガなSUPに最大8人乗って…
力を合わせて楽しくパドリング!!

- 講 師: 新井 勇 氏(サーフショップ WAVE ACT)
- 定 員: 各部 先着7人 ※最小催行人数3人
(18歳未満の人の参加は保護者の同意が必要です。)
- 参加費: 2,000円/人(ガイド料、傷害保険料を含む。)
- ※ウエットスーツレンタルは別途1,000円(数に限りあり)
- ※シュノーケル、ライフジャケット、シャワー更衣室完備。
- 申込期限: 3月8日(水) 午後5時まで
- 申込方法: 電話で申し込んでください。

こい何か知っちょる?

南島原の考古学



埋納された打製石斧

最新速報!! 「打製石斧の埋納遺構」 ～出口遺跡(深江町)～

深江町諏訪地区の基盤整備事業に伴って実施している出口遺跡の発掘調査において、昨年の11月末に縄文時代(今から3千数百年前)の打製石斧が4本まとまって出土しました。

そもそも打製石斧とは、木の柄を取り付けて鍬や鋤のようにして使う、土を掘るための道具です。地面にたたきつけて使うため、割れたり表面が強く摩耗したりして出土するのが一般的です。しかし、今回出土した埋納遺構の打製石斧は、きれいに洗って観察してみると、4本とも完形品で、刃こぼれひとつない「新品」であることが分かりました。

浅い穴の中から出土したこと、刃先の向きが揃っていたことから、これらの打製石斧は縄文時代の人々が意図的に埋めたものだと考えられます。

縄文時代の人々は、せっかく作ったのにどうして使わなかったのでしょうか。後で使おうと思って、しまい込んでいたのでしょうか。もしかしたら、埋めたことを忘れてほかの場所に引っ越してしまったのかもしれない。いろいろと想像が膨らみます。